

# 小学校社会科 単元指導計画（第5学年） 【例】

○単元名 「水産業のさかんな地域」  
 （内容のまとめり 第5学年(2)我が国の農業や水産業における食料生産）

## ○単元の目標

- ・我が国の水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるようにする。
- ・生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、水産業における食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え表現できるようにする。
- ・主体的に課題を追究・解決し、学習したことを基に、これからの水産業の発展について考えようとする態度を養う。

## ○単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。 ②地図帳や地球儀、各種の資料から水産業に関する情報を適切に調べまとめている。	①生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ②学習したことを基に、生産性や品質を高める工夫などについて消費者や生産者の立場に立って多角的に考え、これからの水産業の発展に向けて自分の考えを表現している。	①我が国の水産業について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、課題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、消費者や生産者の立場などから、これからの水産業の発展について考えようとしている。

## ○指導と評価の単元計画(全9時間)

	主な学習活動(◇)と留意点(◆)	課題	評価の観点			評価規準
			知	思	態	評価方法
一次 (1時間)	◇水産物の種類や産地を資料から読み取り、自分たちと水産業との関わりについて、疑問を出し合う。 ◆児童の疑問を分類・整理して板書し、単元を見通した学習課題を設定する。	・私たちが食べる水産物はどこから来ているのだろうか。			●	【態①】我が国の水産業について、学習計画を立て、課題解決に向けた学習の見直しをもっている。 行動観察・ノート
単元を見通した学習課題 水産物はどのように生産されて、私たちのもとに届けられているのだろうか。						
二次 (4時間)	◇生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などについて調べ、水産業に関わる人々の努力や工夫を理解する。 ◆漁業の種類や方法、漁業協同組合の働き、輸送の方法などを、具体的な事例を通して調べさせる。	・水産業はどのように行われているのだろうか。	●	○		【知①】水産業に関わる人々の生産性と品質を高める努力や輸送・販売方法の工夫について理解している。 【知②】地図帳や各種の資料から情報を適切に調べまとめている。 行動観察・ノート

三次 (2時間)	◇学習したことを基に、水産業に関わる人々の工夫や努力と消費者との関連を図にまとめる。 ◆水産業の生産工程、育てる漁業、生産地から消費地への輸送などについて相互の関連を考えさせる。	・水産物はどのように生産されて、私たちのもとに届けられているのだろうか。	○		●	【知①】水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、食料生産を支えていることを理解している。 【思①】学習したことを基に、水産業の仕組み、工夫や努力について考えたことを表現している。 行動観察・ノート
	◇関連図を基に、水産業に関わる人々の工夫や努力について話し合い、課題について文章で書く。			○		【思①】生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力について考え、表現している。 ノート
<p>単元を見通した学習課題に対する児童のまとめ（例）</p> <p>漁業には、まき網漁やたまごから育てる養殖などの方法があります。魚が新鮮だと消費者に喜ばれるので、漁港では手早い荷造りが行われ、保冷トラックで運ばれます。</p> <p>また、魚の価格には、魚を捕る費用だけでなく、輸送や販売に関わる費用などが加わっています。新鮮で美味しい魚を私たちのもとに届けるために、たくさんの人が工夫や努力をしていることがわかりました。</p>						
四次 (2時間)	◇日本の水産業の課題を、スマート漁業や6次産業化と関連付けて考える。 ◆水産業が抱える課題と新たな取組などを関連付けて考えさせる。	・日本の水産業の課題を解決するためにはどうすればよいのだろうか。		○	○	【思②】生産性や品質を高める工夫などについて、学習したことを基に、消費者や生産者の立場に立って考え、これからの水産業の発展に向けて自分の考えを表現している。 【態②】これからの水産業の発展について、消費者や生産者の立場などから考えようとしている。 ノート
	<p>振り返り</p> <p>日本の水産業の課題を解決する取組の1つとして、6次産業化の取組があります。漁業関係者が加工食品の販売、漁村レストランやマリンレジャーなどに連携して取り組むことで、収入が増え、働く人が増えると思います。また、スマート漁業が広がることで作業が効率化して、働きやすくなると思います。私たちも、美味しい魚が食卓からなくならないように、地域の水産業の取組に協力していきたいです。</p>					

●・・・学習状況を見取り、生徒の成長を認め励ますとともに必要に応じて指導、支援を行う「学習改善につながる評価」

○・・・観点別学習状況の評価や評定に用いる「記録に残す評価」